

若松にじいろ通信

(Funabashi Wakamatsu Elementary School Japanese Classroom Newsletter)

2025年11月

November 2025

にほんごしどうきょうしつ
日本語指導教室



しちごさん 「七五三」

11月にある七五三は、子供の成長を祝う日本特有の
伝統行事のひとつです。3歳、5歳、7歳という節目に長寿
と幸福を祈願するもので、今から約1200年前の平安
時代からはじまり、約420年前の江戸時代には、一般の
人々にも広がり、現在の形に近い祝い方となりました。

なぜ、このような行事が根付いたのでしょうか。昔は現代
に比べて医療が未発達で衛生面もよくなかったため、
子供の死亡率が高かったことが影響しているようです。
医療が発達し、様々な予防接種を受けることができたり、
美味しく栄養のある給食を食べることができたり・・・ま
た、きれいな水で手洗いやうがい当たり前のようにな
る私たちは幸せものですね。





かなづき 「神無月」

10月は別名、神無月ともいわれます。これは日本中に存在する八百万の神々が、島根県の出雲大社に集まり、神聖な会議をすると伝えられているためです。諸説ありますが、10月は各地から神様がいなくなってしまうことから「神の無い月＝神無月」といわれるそうです。10月といっても旧暦なので、今年は11月29日から12月15日がこの神無月にあたります。したがって、今月、島根県では「神在月」になります。夏休みに出雲大社に参拝しましたが、とても良いところでした。先の「八百万の神」とは、日本における神々の総称で（八百万＝無数）、神の数が非常に多いことを示し、日本の文化や慣習に深く根付いています。試しに「八百万の神」を英語翻訳機で調べると、そのまま「The eight million gods」となっていました。自然界すべてのものに神が宿り、尊重されるという考え「All thing have a spirit」が自然とできる日本は、改めてすごい国だと思いませんか。

